

2025 参院選 連続調査 選挙後 モニター調査 報告書

（2025年7月25日～8月6日調査）

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果	
	（i）単純集計	3
	（ii）概要	5
	（iii）集計表	20
	（iv）「その他」の回答	38
III	調査票	40



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<https://www.nagano-yoron.or.jp>

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ

I 目的・設計・回答状況

◆ 目 的

2025 年 7 月 20 日に投開票された第 27 回参議院選挙では、自民・公明の与党が参議院の過半数（125 議席）を割り込みました。また、2024 年 10 月の衆議院選挙でも与党は過半数を維持できず、これにより衆参両院ともに与党が少数勢力となる、戦後政治においても例を見ない状況が生じています。

本調査は、当協会が参院選公示前に実施した事前調査に続く「連続調査」として位置づけられます。長野県内の有権者が参院選においてどのような選択を行ったのか、また選挙結果や今後の政治課題をどのように受け止めているのかを明らかにすることを目的に、当協会の登録モニターを対象として政治意識を探りました。

◆ 設 計

▽調査時期 2025（令和 7）年 7 月 25 日（調査票発送）～ 8 月 6 日（回収締め切り）

▽調査対象 長野県世論調査協会に登録している県内在住の18歳以上のモニター（調査協力者）659 人
※年代や性別、選挙区別の比率が県内の縮図に近づくよう選定している

▽調査方法 調査票を郵送。回答は郵送の他、インターネット、ファクスで回収

【モニター調査】 長野県世論調査協会の登録モニター（調査協力者）を対象とする郵送方式の連続意識調査。第 1 回は 1995 年。同じ集団を対象にトレンドや意識変化を探ることが主な目的。選挙人名簿等から調査対象者を無作為抽出する世論調査や、選挙情勢調査とは異なる。

◆ 回答状況

▽有効回答 577 人（男性 277 人 女性 295 人 回答しない 5 人）

▽回 答 率 87.6%

[回収方法別の内訳]（ ）内は比率

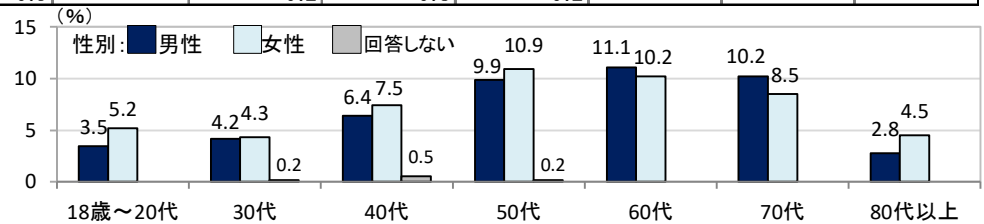
- ・ 郵送 310 人 (53.7%)
- ・ インターネット 194 人 (33.6%)
- ・ ファクス 73 人 (12.7%)

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

有効回答の内訳

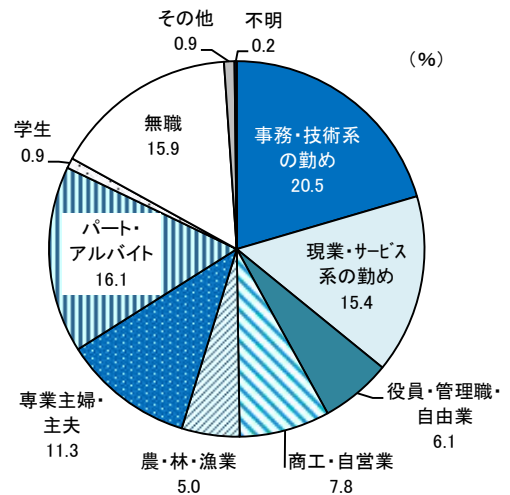
【年代別と性別】

年代別		合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
性別	男性	(人) 577	50	50	83	121	123	108	42
		(%) 100.0	8.7	8.7	14.4	21.0	21.3	18.7	7.3
	女性	(人) 277	20	24	37	57	64	59	16
		(%) 48.0	3.5	4.2	6.4	9.9	11.1	10.2	2.8
性別	女性	(人) 295	30	25	43	63	59	49	26
		(%) 51.1	5.2	4.3	7.5	10.9	10.2	8.5	4.5
	回答しない	(人) 5	—	1	3	1	—	—	—
		(%) 0.9	—	0.2	0.5	0.2	—	—	—



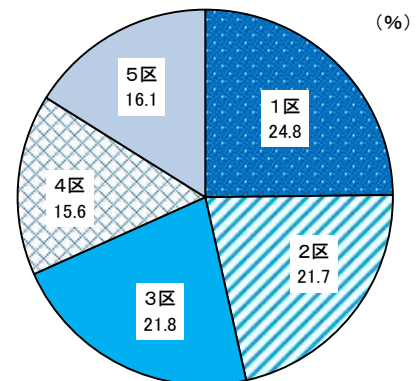
【職業別】

	(人)	(%)
事務・技術系の勤め	118	20.5
現業・サービス系の勤め	89	15.4
役員・管理職・自由業	35	6.1
商工・自営業	45	7.8
農・林・漁業	29	5.0
専業主婦・主夫	65	11.3
パート・アルバイト	93	16.1
学生	5	0.9
無職	92	15.9
その他	5	0.9
不明	1	0.2
全体	577	100.0



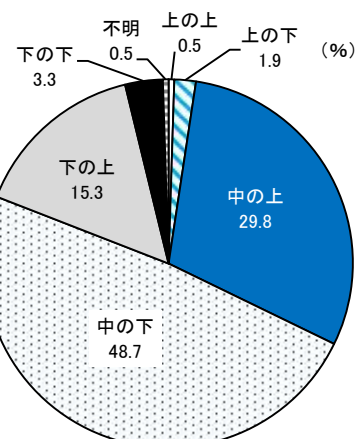
【選挙区別】

	(人)	(%)
1区	143	24.8
2区	125	21.7
3区	126	21.8
4区	90	15.6
5区	93	16.1
全体	577	100.0



【暮らしぶり】

	(人)	(%)
上の上	3	0.5
上の下	11	1.9
中の上	172	29.8
中の下	281	48.7
下の上	88	15.3
下の下	19	3.3
不明	3	0.5
全体	577	100.0



Ⅱ 調査結果

(ⅰ) 単純集計

問1 今回の参院選では、長野県区で立憲民主党の羽田次郎氏が当選し、自民が補選を含め5連敗となりました。全国では自民・公明の与党が参議院の過半数を割り込みました。この結果をどう受け止めますか。

	(人)	(%)
・たいへん良かった	111	19.2
・ある程度良かった	242	41.9
・あまり良くなかった	98	17.0
・全く良くなかった	41	7.1
・何とも言えない・わからない	84	14.6
・不明	1	0.2

問2 今回の参院選の結果により、衆参両院とも議席が過半数を割る少数与党の政権となったことについて、あなたの受け止めに近いものを選んでください。

	(人)	(%)
・政局が安定せず、混乱しやすくなる ことが心配だ	90	15.6
・予算や法案が成立せず、政策が 進まないことが心配だ	133	23.1
・与野党の緊張感が高まり、議論 が深まって良い	223	38.6
・従来よりも、野党の少数意見も 尊重されるので良い	88	15.3
・何とも言えない・わからない	42	7.3
・不明	1	0.2

問3 あなたは、石破内閣を支持しますか。

	(人)	(%)
・支持する	128	22.2
・支持しない	281	48.7
・何とも言えない・わからない	166	28.8
・不明	2	0.3

問4 (問3で「支持する」とお答えの方にお尋ねします) 支持する理由は何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・ほかに適当な人がいないから	79	61.7
・石破茂氏が首相だから	37	28.9
・自民党中心の内閣だから	35	27.3
・首相の政治姿勢・手法が 好ましいから	35	27.3
・公明党との連立内閣だから	19	14.8
・政策に期待できるから	18	14.1
・その他	2	1.6

問5 (問3で「支持しない」とお答えの方にお尋ねします) 支持しない理由は何ですか。次の中から2つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・政策に期待できないから	176	62.6
・首相の政治姿勢・手法が 好ましくないから	132	47.0
・自民党中心の内閣だから	90	32.0
・石破茂氏が首相だから	57	20.3
・公明党との連立内閣だから	33	11.7
・ほかに適当な人がいるから	19	6.8
・その他	7	2.5

問6 あなたは、どの政党を支持していますか。

	(人)	(%)
・自民党	109	18.9
・立憲民主党	86	14.9
・参政党	43	7.5
・国民民主党	33	5.7
・公明党	29	5.0
・れいわ新選組	23	4.0
・共産党	17	2.9
・日本維新の会	11	1.9
・日本保守党	10	1.7
・社民党	8	1.4
・チームみらい	4	0.7
・その他の政党・政治団体	7	1.2
・支持する政党はない	196	34.0
・不明	1	0.2

問7 物価高対策は今回の参院選で大きな争点になりました。現金給付や消費税減税・廃止などを公約に掲げ、各党の論戦が展開されました。あなたは物価高対策としてどの政策がふさわしいと思いますか。

	(人)	(%)
・現金給付がふさわしい	73	12.7
・消費税減税がふさわしい	320	55.5
・消費税廃止がふさわしい	79	13.7
・その他	48	8.3
・何とも言えない・わからない	57	9.9

問8 年金や老後資金の不安について今後、解消される方向へ進むと思いますか。

	(人)	(%)
・大いに進む	8	1.4
・ある程度進む	38	6.6
・あまり進まない	333	57.7
・全く進まない	168	29.1
・不安はない	2	0.3
・何とも言えない・わからない	28	4.9

問9 あなたが、力を入れてほしい政治の重要な課題は何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・物価高対策	255	44.2
・景気・雇用	168	29.1
・福祉・医療・介護	139	24.1
・子育て支援・少子化対策	121	21.0
・外交・安全保障	109	18.9
・消費税	79	13.7
・格差是正	53	9.2
・政治家、公務員の倫理	40	6.9
・外国人政策	38	6.6
・行財政改革	32	5.5
・環境保全	30	5.2
・教育	29	5.0
・地方振興・一極集中是正	25	4.3
・原発・エネルギー政策	15	2.6
・防衛費	6	1.0
・憲法改正	4	0.7
・その他	4	0.7

問10 あなたは、今回の参院選で投票しましたか。

	(人)	(%)
・投票した	509	88.2
・投票しなかった	68	11.8

問11 (問10で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) 比例代表では、どの政党またはどの政党の候補者に投票しましたか。

	(人)	(%)
・自民党	135	26.5
・立憲民主党	122	24.0
・参政党	54	10.6
・共産党	36	7.1
・国民民主党	35	6.9
・公明党	29	5.7
・れいわ新選組	24	4.7
・日本保守党	18	3.5
・日本維新の会	15	2.9
・社民党	14	2.8
・チームみらい	3	0.6
・その他の政党・政治団体	15	2.9
・白票・無効票	6	1.2
・不明	3	0.6

問12 (問10で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) 長野県選挙区では、どの政党・政治団体の候補者に投票しましたか。

	(人)	(%)
・参政党の候補者	77	15.1
・自民党の候補者	159	31.2
・立憲民主党の候補者	239	47.0
・チームみらいの候補者	12	2.4
・NHK 党の候補者	6	1.2
・白票・無効票	11	2.2
・不明	5	1.0

問13 (問10で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) あなたは、今回の参院選で投票先を決める際、自民党派閥の政治資金パーティー裏金問題を考慮しましたか、考慮しませんでしたか。

	(人)	(%)
・大いに考慮した	115	22.6
・ある程度考慮した	144	28.3
・あまり考慮しなかった	138	27.1
・全く考慮しなかった	96	18.9
・何とも言えない・わからない	12	2.4
・不明	4	0.8

問14 (問10で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) あなたは今回の参院選の投票先を決める上で、インターネットの交流サイト(SNS)や動画サイトの情報を参考にしましたか。

	(人)	(%)
・大いに参考にした	36	7.1
・ある程度参考にした	119	23.4
・あまり参考にしなかった	111	21.8
・全く参考にしなかった	154	30.3
・そもそも見ない・使わない	83	16.3
・不明	6	1.2

問15 あなたは、次の衆院選は、いつごろ行すべきだと思いますか。

	(人)	(%)
・年内(2025 年)	97	16.8
・来年(2026 年)	133	23.1
・再来年(2027 年)	23	4.0
・衆議院の任期満了(2028 年 10 月)に合わせて	164	28.4
・何とも言えない・わからない	159	27.6
・不明	1	0.2

問16 あなたは、与党が今後どのような方向を目指すのが望ましいと考えますか。

	(人)	(%)
・野党との協力を強める	233	40.4
・連立や再編を検討する	121	21.0
・政権を野党に一時的に譲る	76	13.2
・枠組みを堅持したまま政権運営を目指す	48	8.3
・その他	15	2.6
・何とも言えない・わからない	82	14.2
・不明	2	0.3

問17 あなたは、野党が今後どのような方向を目指すのが望ましいと考えますか。

	(人)	(%)
・それぞれの党を維持した上で、共闘を強化する	225	39.0
・できるだけ多くの野党が大同団結し、再編する	91	15.8
・各党が独自の路線を貫く	71	12.3
・一部野党が与党との連立に加わる	55	9.5
・野党が大連立して政権交代する	47	8.1
・その他	9	1.6
・何とも言えない・わからない	77	13.3
・不明	2	0.3

問18 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配や不安に思うことがありますか。次の中から、5つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・高齢化と少子化	370	64.1
・景気・雇用	290	50.3
・社会保障・福祉の水準	289	50.1
・国の安全保障	238	41.2
・地震・水害などの自然災害	233	40.4
・経済の国際競争力	209	36.2
・政治の不安定・不信	196	34.0
・財政赤字	155	26.9
・貧富の格差	146	25.3
・地球環境	141	24.4
・外国人政策	130	22.5
・地方衰退・東京一極集中	83	14.4
・教育	80	13.9
・官僚依存型社会	69	12.0
・エネルギー	59	10.2
・行政改革	36	6.2
・不明	2	0.3

(ii) 概要

有効回答 577 人

参院選の結果をどう受け止めますか

問1 今回の参院選では、長野県区で立憲民主党の羽田次郎氏が当選し、自民が補選を含め5連敗となりました。全国では自民・公明の与党が参議院の過半数を割り込みました。この結果をどう受け止めますか。

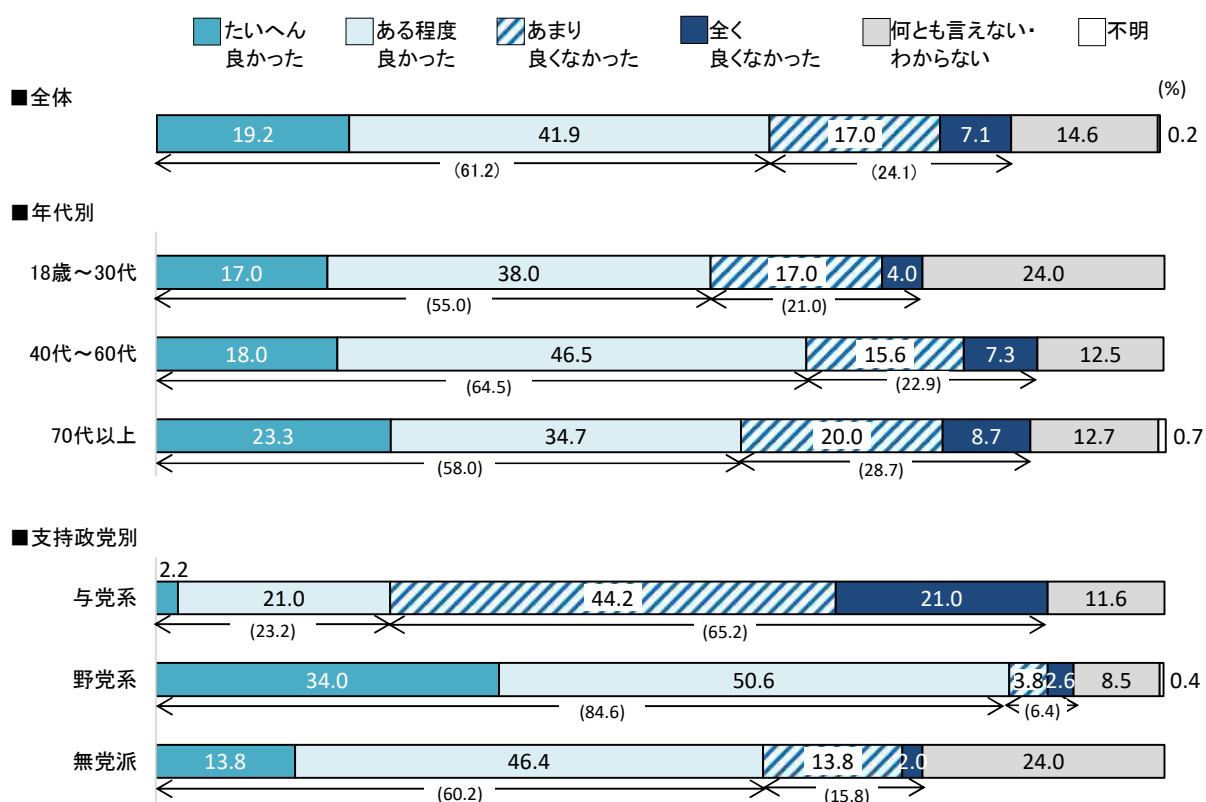
◆与党の過半数割れ「良かった」計61%

集計表20ページ

「たいへん良かった」19.2%と「ある程度良かった」41.9%を2つ合わせた「良かった」が計61.2%。「あまり良くなかった」17.0%と「全く良くなかった」7.1%を合わせた「良くなかった」が24.1%となった。

年代別にみると、「たいへん良かった」と「ある程度良かった」を合わせた「良かった」は、40代～60代が64.5%と最も高く6割を超えた。70代以上は58.0%、18歳～30代は55.0%だった。

支持政党別にみると、与党系支持層は「良くなかった」が65.2%、野党系支持層は「良かった」が84.6%となった。無党派層では「良かった」が60.2%だった。



※ [与党系] 自民、公明 [野党系] 立民、維新、国民、れいわ、共産、参政、保守、社民、みらい [無党派] 「支持する政党はない」

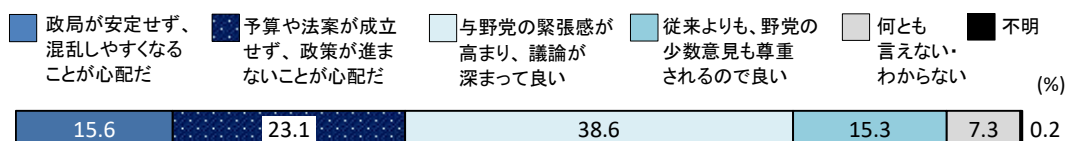
衆参両院ともに過半数割れとなった少数与党をどう受け止めますか

問2 今回の参院選の結果により、衆参両院とも議席が過半数を割る少数与党の政権となったことについて、あなたの受け止めに近いものを選んでください。

◆「与野党の緊張感が高まり良い」 トップ 39%

集計表21ページ

「与野党の緊張感が高まり、論議が深まって良い」が38.6%で最も高かった。続いて「予算や法案が成立せず、政策が進まないことが心配だ」が23.1%、「政局が安定せず、混乱しやすくなることが心配だ」が15.6%、「従来よりも、野党の少数意見も尊重されるので良い」が15.3%だった。



石破内閣を支持するか

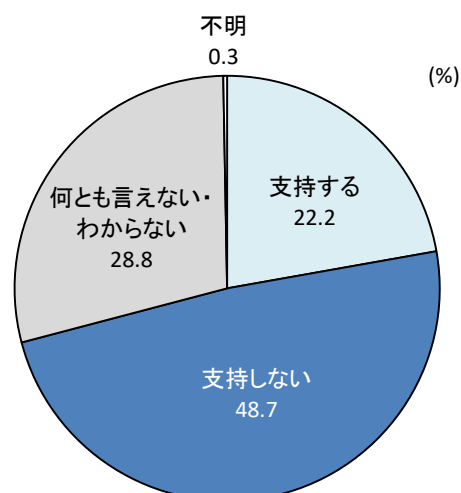
問3 あなたは、石破内閣を支持しますか。

◆支持 22%、不支持 49%

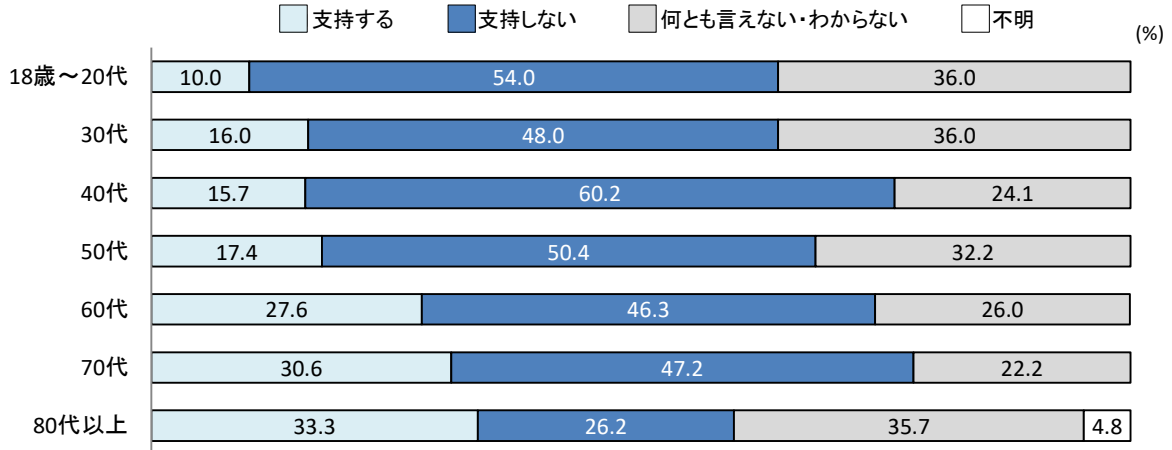
集計表22ページ

「支持する」が22.2%、「支持しない」が48.7%、「何とも言えない・わからない」が28.8%だった。年代別にみると、「支持しない」は40代が60.2%と最も高く、18歳～20代(54.0%)、50代(50.4%)が5割を超えた。唯一、80代以上では「支持する」(33.3%)が「支持しない」(26.2%)を上回った。

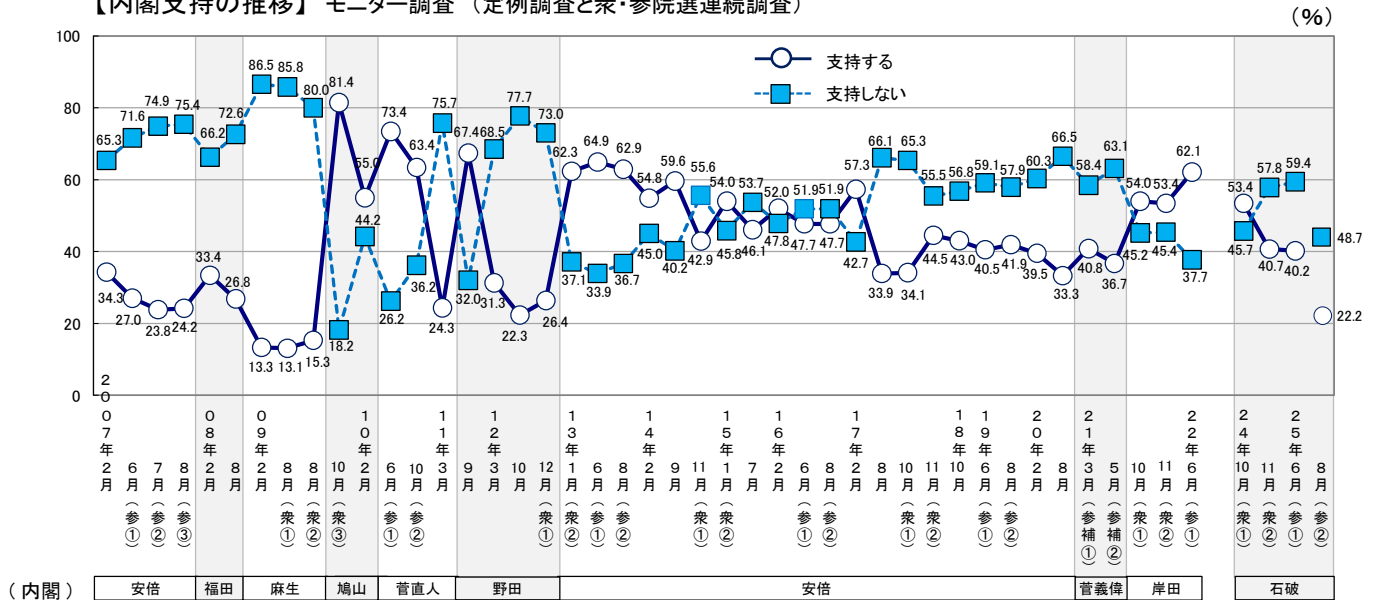
民意の多様化を考慮して今回調査から選択肢に「何とも言えない・わからない」を追加した。参考値として「支持する」か「支持しない」のいずれか態度を明確にした人の合計に占める割合でみると、「支持する」は31.3%、「支持しない」は68.7%だった。



■年代別



【内閣支持の推移】 モニター調査（定例調査と衆・参院選連続調査）



※「衆①」は衆院選、「参①」「参補①」は参院選・参院補選のそれぞれ公示前・告示前の調査で、最終回は選挙後の調査

※調査期間が月をまたいだ場合、期間最終日の月を調査実施の月としている

※24年10月(衆①)は、内閣発足前に調査票を発送したため、「石破政権」への支持・不支持を聞いた

※25年8月(参②)は、「支持する」「支持しない」に加え、「何とも言えない・わからない」を追加した

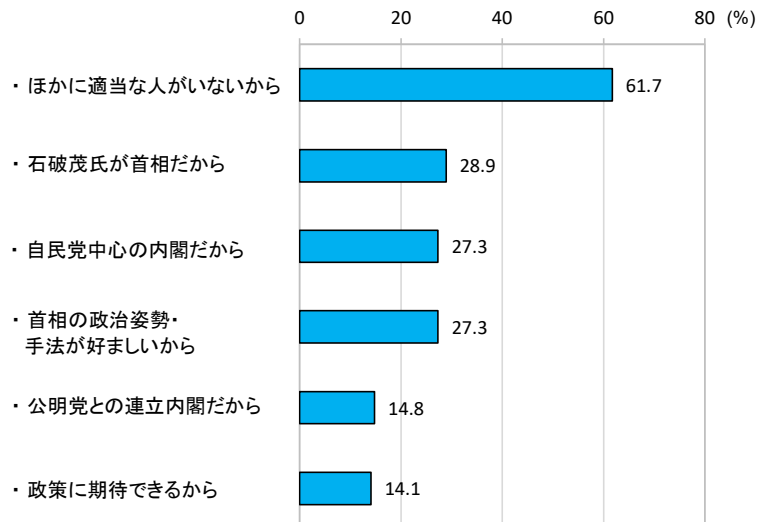
支持する理由は

問4 (問3で「支持する」とお答えの方にお尋ねします) 支持する理由は何ですか。
次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

◆支持の理由「ほかに適当な人がいないから」 トップ 62%

集計表23ページ

「ほかに適当な人がいないから」が61.7%と断然多く、6割超の人が理由に挙げた。次いで「石破茂氏が首相だから」が28.9%、「自民党中心の内閣だから」と「首相の政治姿勢・手法が好ましいから」が27.3%で続いた。



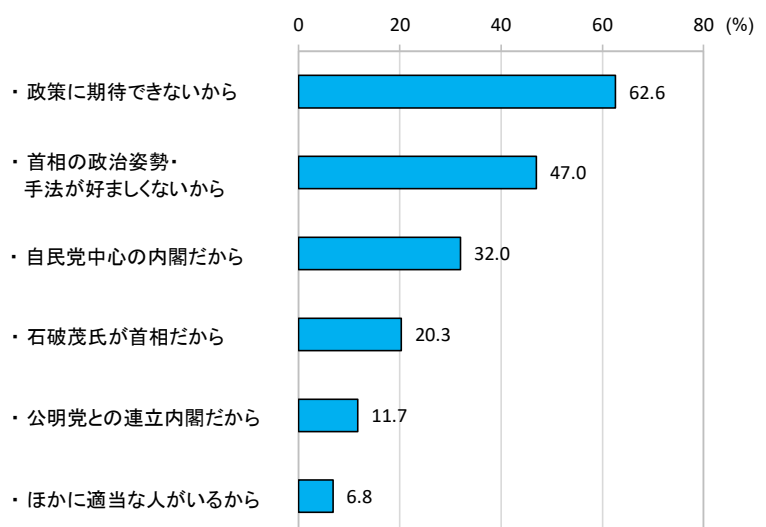
不支持の理由は

問5 (問3で「支持しない」とお答えの方にお尋ねします) 支持しない理由は何ですか。
次の中から2つ以内に絞ってお答えください。

◆不支持の理由「政策に期待できないから」 63%

集計表24ページ

「政策に期待できないから」が最多の62.6%を占めた。次いで「首相の政治姿勢・手法が好ましくないから」が47.0%、「自民党中心の内閣だから」が32.0%で続いた。



支持する政党は

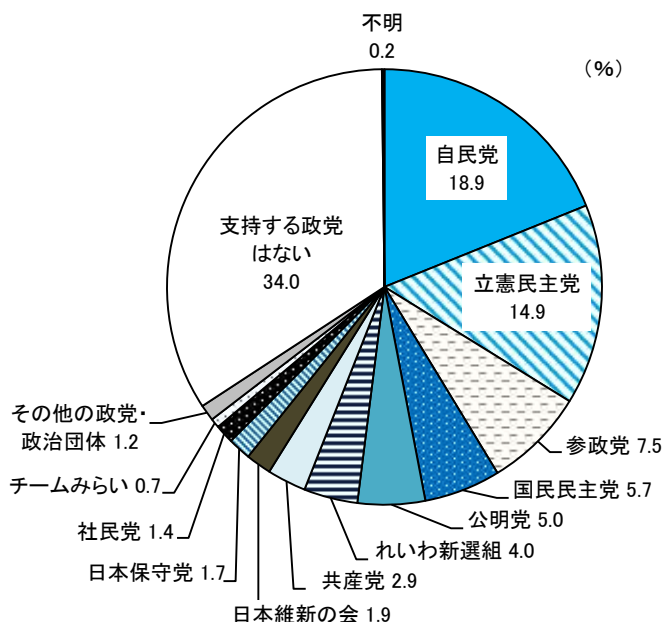
問6 あなたは、どの政党を支持していますか。

◆自民 19%、立民 15%、参政 8%、支持政党なし 34%

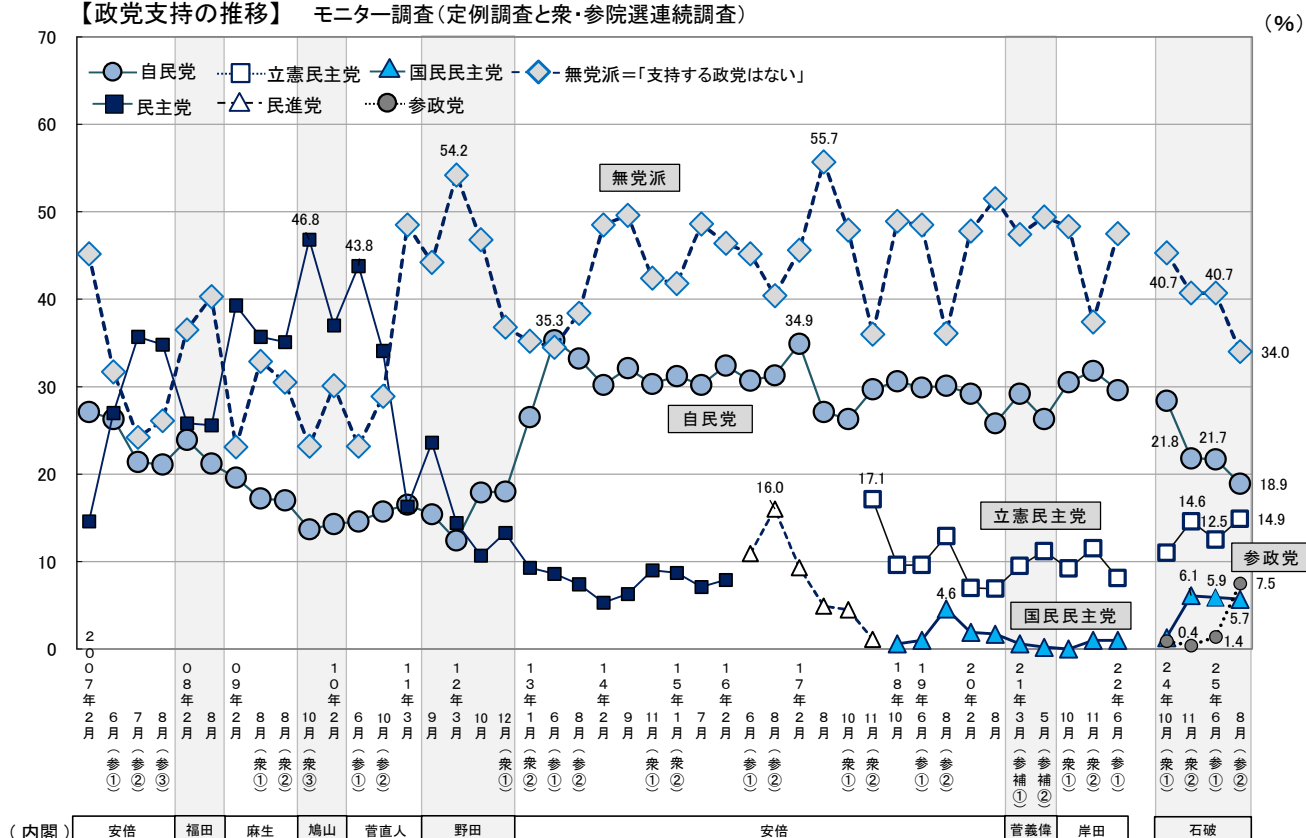
集計表25ページ

自民党が18.9%とトップだが、参院選公示前の本調査(21.7%)に比べ2.8ポイント下降、2番目に高かったのが立憲民主党の14.9%で同2.4ポイント上昇、3番目に高かったのが参政党の7.5%で同6.1ポイントの大幅上昇となった。国民民主党は5.7%でほぼ横ばい(0.2ポイント下降)。支持政党なしは34.0%だった。

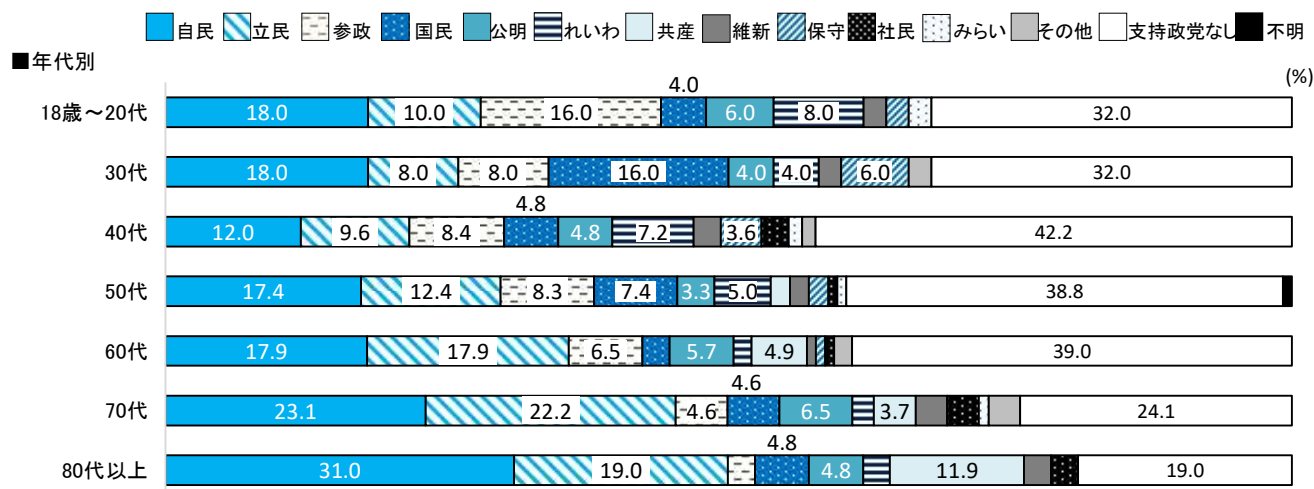
年代別にみると、80代以上は自民党支持層が31.0%、立憲民主党支持層が19.0%を占めた。70代でみると、自民支持層が23.1%、立憲民主党支持層が22.2%だった。18歳～20代では、自民党支持層が18.0%、続いて参政党支持層が16.0%を占めた。



【政党支持の推移】 モニター調査(定例調査と衆・参院選連続調査)



※「衆①」は衆院選、「参①」「参補①」は参院選・参院補選のそれぞれ公示前・告示前の調査で、最終回は選挙後の調査
※調査期間が月をまたいだ場合、期間最終日の月を調査実施の月としている



物価高対策の政策としてふさわしいものは

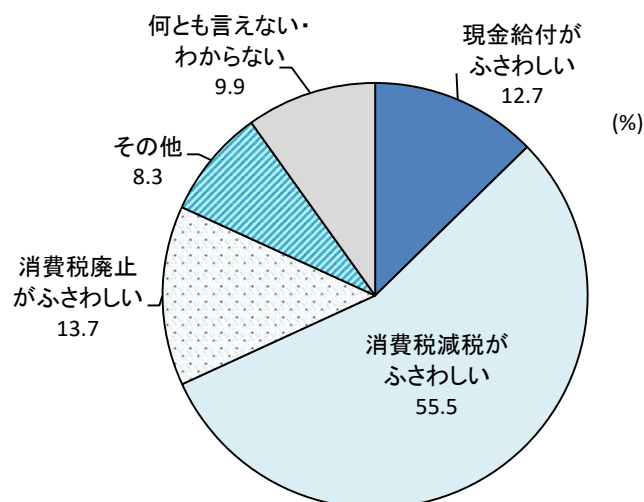
問7 物価高対策は今回の参院選で大きな争点になりました。現金給付や消費税減税・廃止などを公約に掲げ、各党の論戦が展開されました。あなたは物価高対策としてどの政策がふさわしいと思いますか。

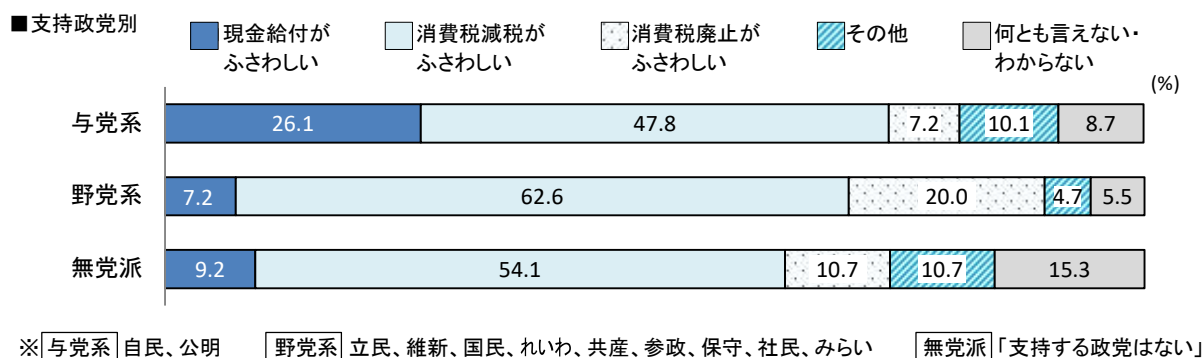
◆現金給付 13%、消費税減税 55%、何とも言えない 10%

集計表26ページ

「消費税減税がふさわしい」が最も高く 55.5%、次いで「消費税廃止がふさわしい」が 13.7%、「現金給付がふさわしい」は 12.7%にとどまった。「何とも言えない・わからない」は 9.9%。

支持政党別にみると、「消費税減税がふさわしい」は野党系支持層の 62.6%を占めたほか、与党系支持層でも 47.8%に上った。「現金給付がふさわしい」は与党系支持層でも 26.1%にとどまった。





年金や老後資金の不安、解消へ進むと思いますか

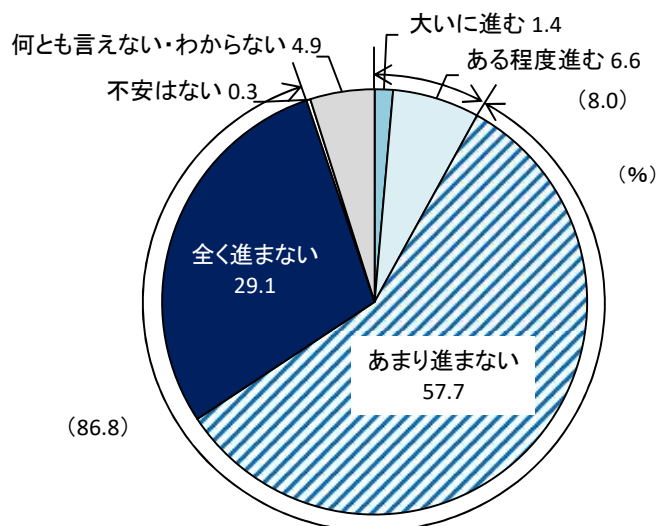
問8 年金や老後資金の不安について今後、解消される方向へ進むと思いますか。

◆進む8%、進まない87%

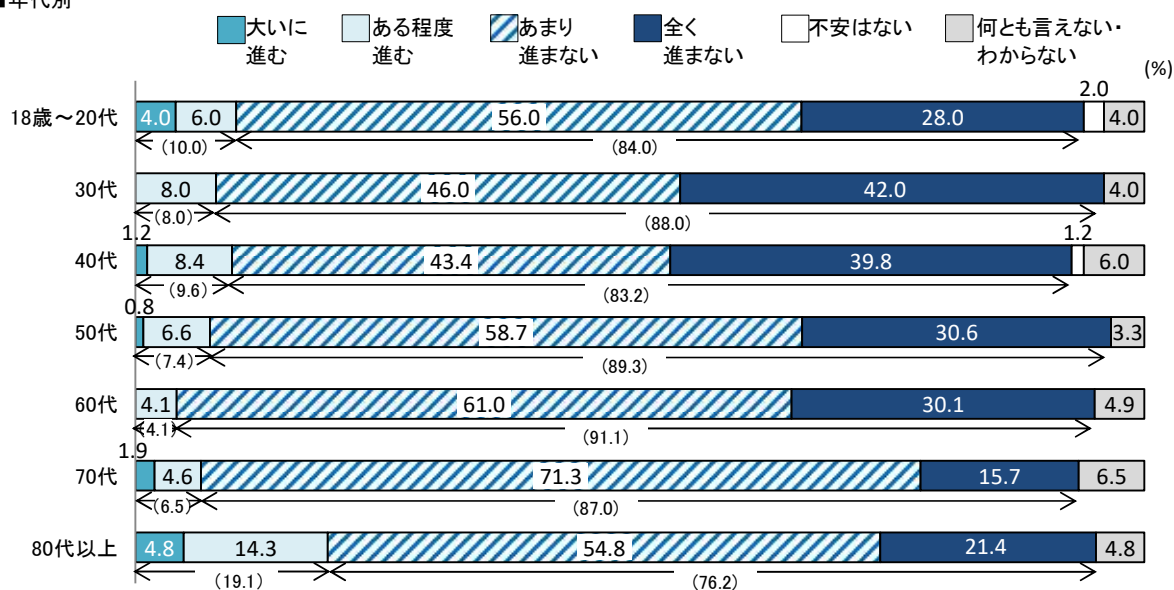
集計表27ページ

「あまり進まない」57.7%、「全く進まない」29.1%を合わせた「進まない」は86.8%に上った。「大いに進む」1.4%、「ある程度進む」6.6%を合わせた「進む」は8.0%にとどまった。「不安はない」はわずか0.3%だった。

年代別にみると、「進まない」は60代で91.1%と9割を超え、他の年代も80代以上（76.2%）を除いていずれも8割を超えた。



■年代別



注力してほしい重要な政治課題は

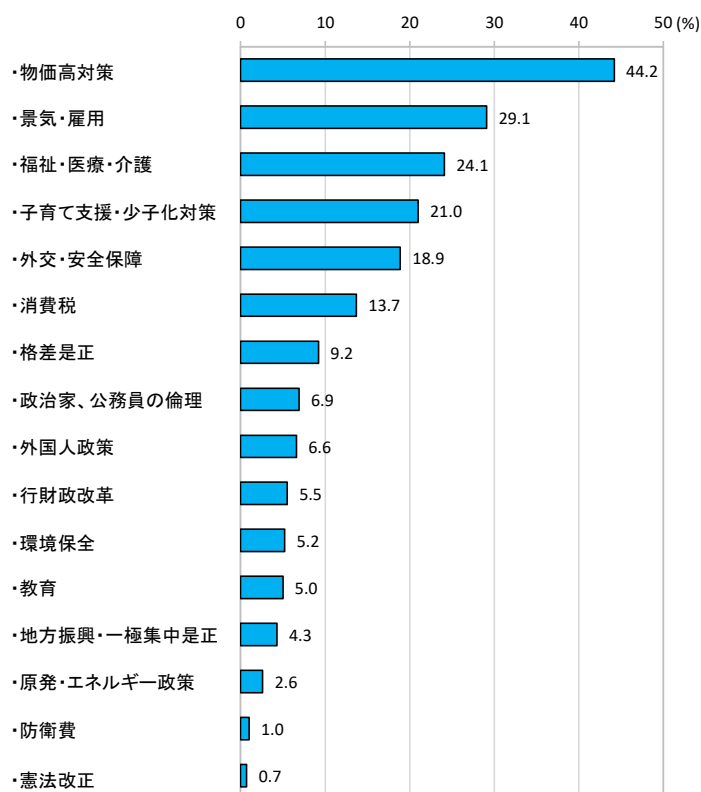
問9 あなたが、力を入れてほしい政治の重要な課題は何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

◆「物価高対策」44%、「景気・雇用」29%、「福祉・医療・介護」24%

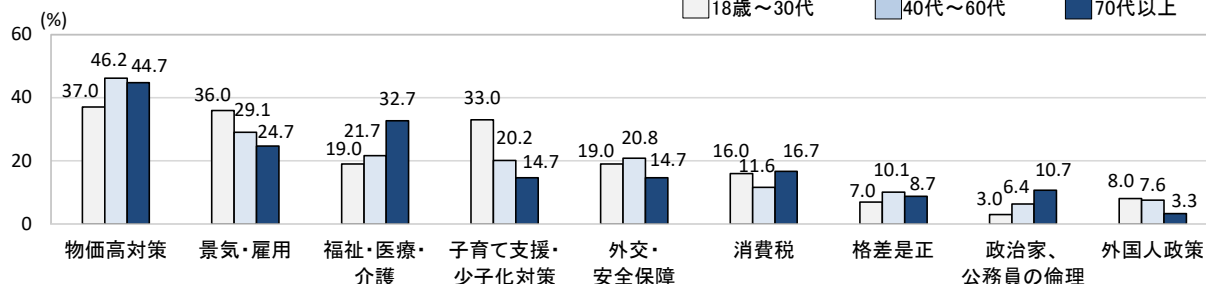
集計表28ページ

「物価高対策」が断然高く44.2%。続いて「景気・雇用」29.1%、「福祉・医療・介護」24.1%となった。今回の参院選で論戦が注目された「外国人政策」は9番目に高い6.6%だった。

年代別にみると、「物価高対策」を選んだのは40代～60代（46.2%）が最も高く、「景気・雇用」は18歳～30代（36.0%）の若い層、「福祉・医療・介護」は70代以上（32.7%）の高齢者層が多かった。「外国人政策」は18歳～30代（8.0%）が最も高かった。



■年代別（上位9項目）



参院選で投票したか

問10 あなたは、今回の参院選で投票しましたか。

◆「投票した」88%

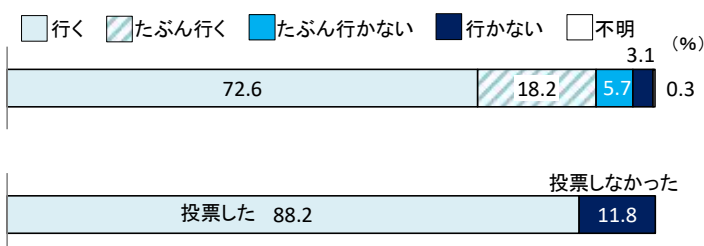
集計表29ページ

88.2%が投票したと回答した。これまでもモニターの投票率は高く、今回も長野県選挙区の投票率（61.11%）を27ポイント余り上回った。

公示前



選挙後



比例代表の投票先は

問 11 (問 10 で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) 比例代表では、どの政党またはどの政党の候補者に投票しましたか。

◆公示前「まだ決めていない」

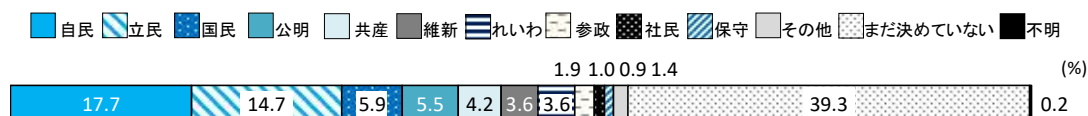
集計表30ページ

→自民へ 26%、立民へ 19%、参政へ 16%

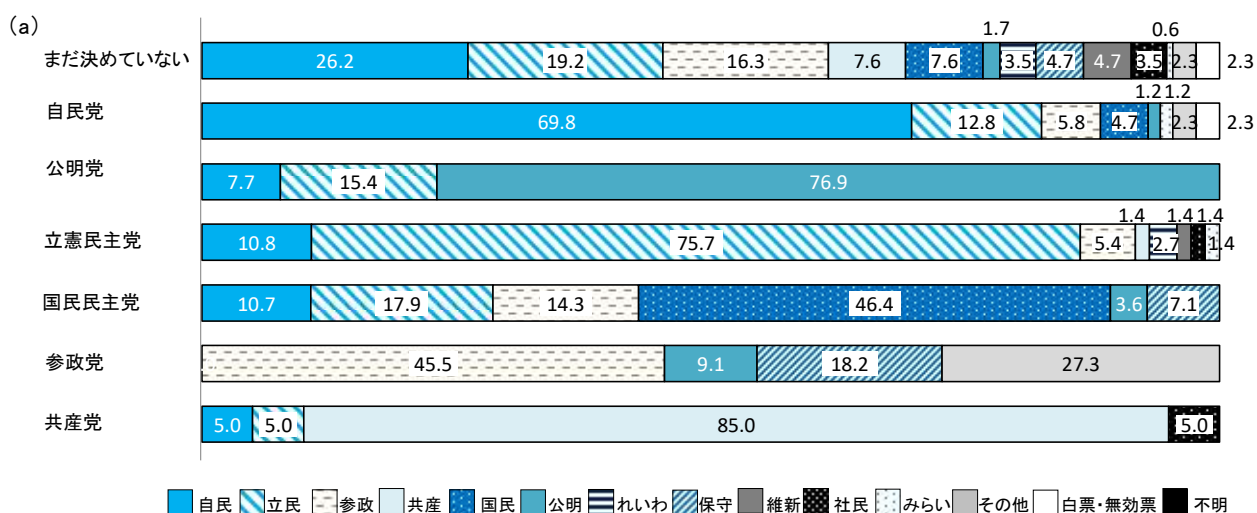
参院選の公示前の調査（6月実施）では、比例代表の投票先を「まだ決めていない」人が 39.3%に上った。このうち、実際に投票に行った人の投票先は、今回の調査で、自民党 26.2%（今回参院選開票結果の県内比例得票率 22.7%）、次いで立憲民主党 19.2%（同 19.1%）、参政党 16.3%（同 11.3%）となった。国民民主党 7.6%（同 10.5%）、共産党 7.6%（同 6.3%）、日本保守党 4.7%（同 4.6%）、日本維新の会 4.7%（同 3.9%）。公示前に「まだ決めていない」とした態度未定層は、実際の県内比例得票率とおおむね同じ傾向ではあるが、やや自民党、参政党へ多く流れる結果となった。

年代別にみると、自民党、立憲民主党は年代が上がるほど高く、今回の参院選で大幅に議席を伸ばした参政党、国民民主党は年代が下がるほど高い傾向となった。

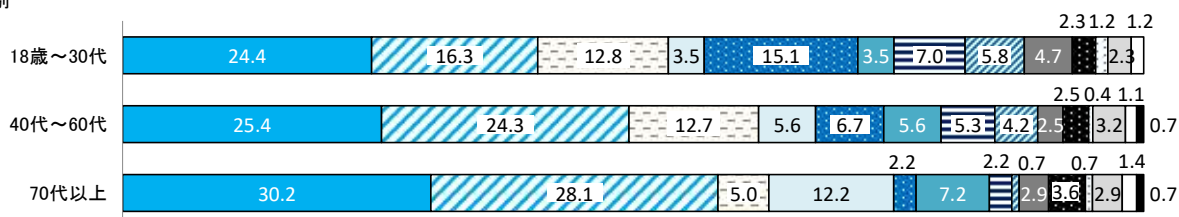
(イ) 公示前に考えていた投票先(比例代表)＝公示前の調査



(ロ) 公示前に考えていた投票先(a)と実際の投票先(比例代表)



(ハ) 年代別



長野県選挙区の投票先は

問 12 (問 10 で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) 長野県選挙区では、どの政党・政治団体の候補者に投票しましたか。

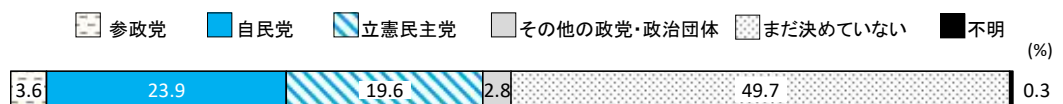
◆公示前「まだ決めていない」

集計表31ページ

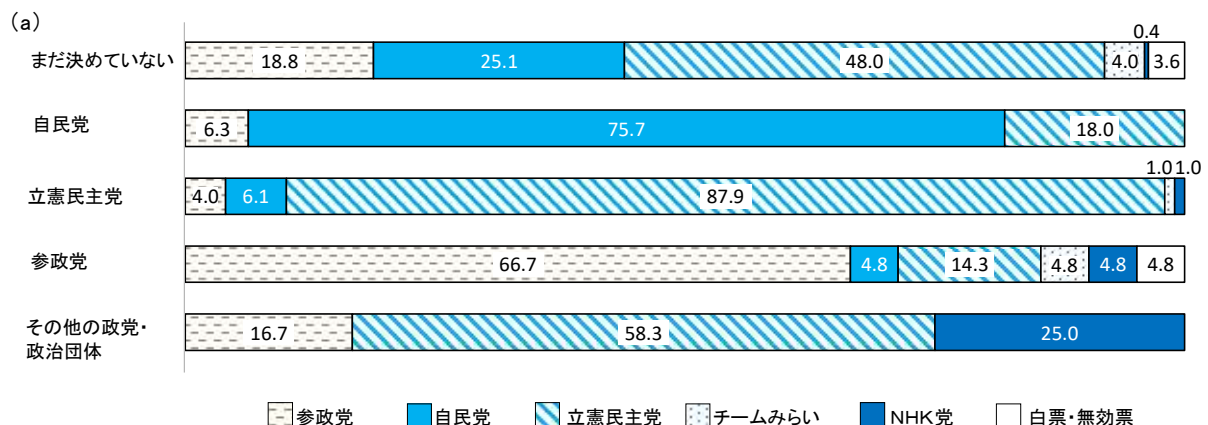
→立民へ 48%、自民へ 25%、参政へ 19%

参院選の公示前の調査（6月実施）では、長野県選挙区の投票先を「まだ決めていない」と答えた人が 49.7%に上った。このうち、実際に投票に行った人の投票先は、今回の調査で、立憲民主党候補者 48.0%（今回参院選開票結果の県区得票率 42.8%）、次いで自民党候補者 25.1%（同 31.0%）、参政党候補者 18.8%（同 18.4%）となった。チームみらい候補者は 4.0%（同 6.4%）、NHK党候補者は 0.4%（同 1.4%）だった。実際の県区得票率と比べると、公示前に「まだ決めていない」としていた態度未定層は、やや立憲民主党候補者に多く流れる結果となった。

(イ) 公示前に考えていた投票先(長野県選挙区)＝公示前の調査



(ロ) 公示前に考えていた投票先(a)と実際の投票先(長野県選挙区)



自民党派閥の裏金問題を考慮したか

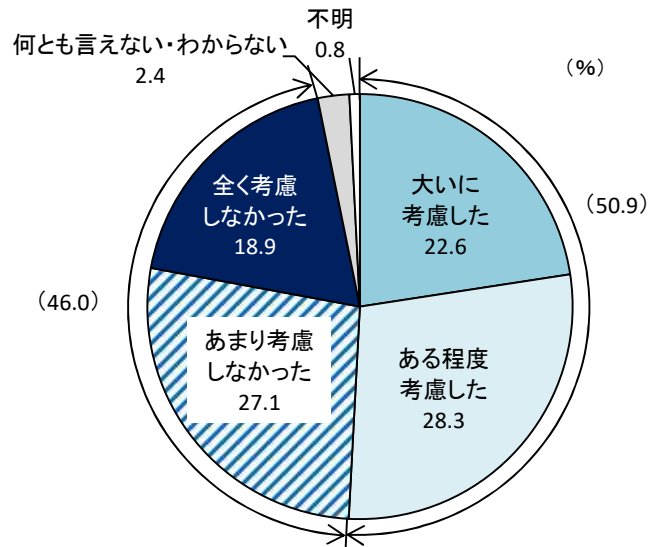
問 13 (問 10 で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) あなたは、今回の参院選で投票先を決める際、自民党派閥の政治資金パーティー裏金問題を考慮しましたか、考慮しませんでしたか。

集計表32ページ

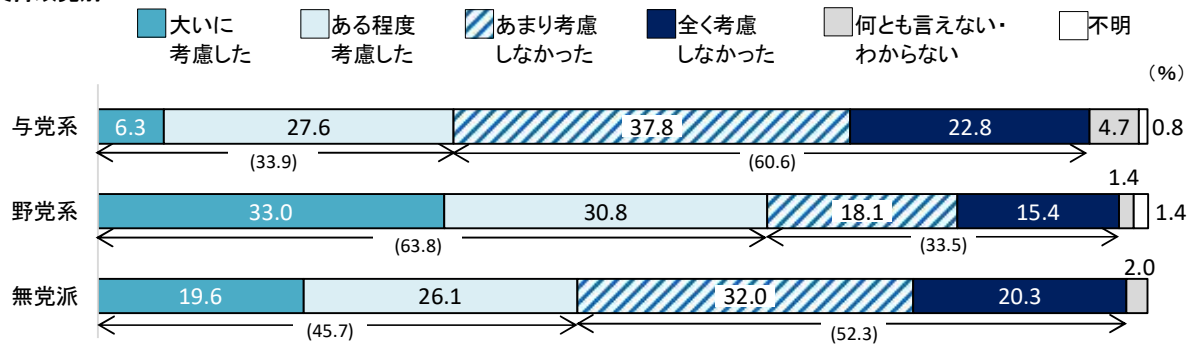
◆「考慮した」51%、「考慮しなかった」46%

「大いに考慮した」22.6%、「ある程度考慮した」28.3%の2つを合わせた「考慮した」は50.9%と半数を超えた。「あまり考慮しなかった」27.1%と「全く考慮しなかった」18.9%を合わせた「考慮しなかった」は46.0%だった。

支持政党別にみると、野党系支持層は「考慮した」が63.8%に上った。無党派層は「考慮しなかった」が52.3%で「考慮した」の45.7%を6.6ポイント上回った。与党系支持層は「考慮しなかった」が60.6%に上ったが、「考慮した」も33.9%と一定の割合を占めた。



■支持政党別



※**与党系** 自民、公明 **野党系** 立民、維新、国民、れいわ、共産、参政、保守、社民、みらい **無党派** 「支持する政党はない」

SNSや動画サイト情報を参考にしたか

問 14 (問 10 で「投票した」とお答えの方にお尋ねします) あなたは今回の参院選の投票先を決める上で、インターネットの交流サイト(SNS)や動画サイトの情報を参考にしましたか。

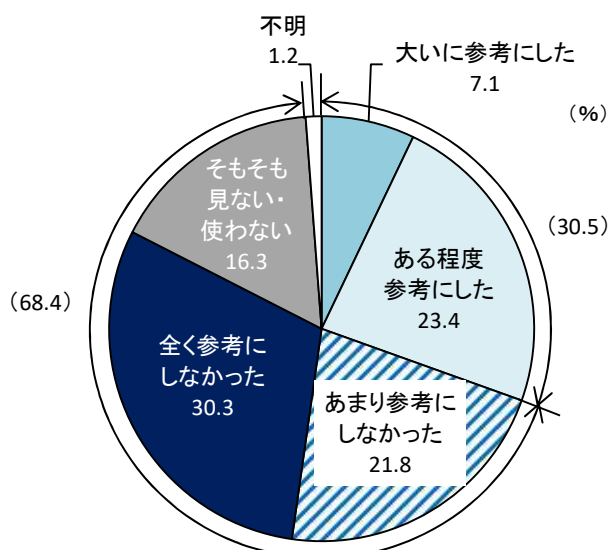
◆「参考にした」31%、18歳～30代は57%

集計表33ページ

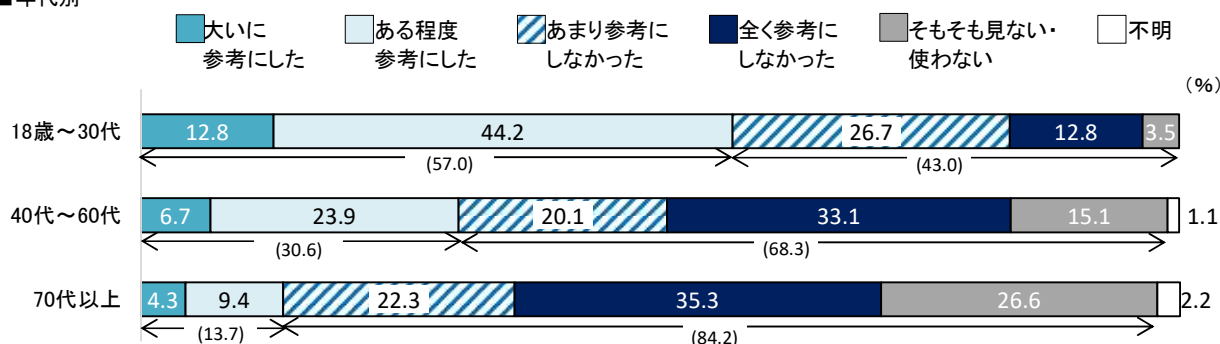
「大いに参考にした」(7.1%)と「ある程度参考にした」(23.4%)を合わせた「参考にした」は30.5%、「あまり参考にしなかった」(21.8%)と「全く参考にしなかった」(30.3%)、「そもそも見ない・使わない」(16.3%)を合わせた「参考にしなかった」は68.4%となった。

年代別にみると、「参考にした」は18歳～30代が57.0%と半数を超えた。40代～60代は30.6%、70代以上は13.7%にとどまり、若い年代ほど高い結果となった。

支持政党別にみると、「参考にした」は自民党支持層の20.6%、立憲民主党支持層の17.8%だった。今回の参院選で大幅に議席を伸ばした参政党の支持層では「参考にした」が85.4%に上り、国民民主党支持層では38.7%だった。



■年代別



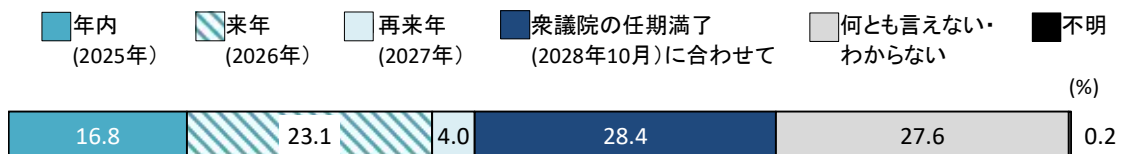
次の衆院選はいつ行うべきか

問 15 あなたは、次の衆院選は、いつごろ行うべきだと思いますか。

集計表34ページ

◆「任期満了に合わせて」28%、「来年」23%

次の衆院選をいつごろ行うべきか考えを聞いたところ、「衆議院の任期満了（2028年10月）に合わせて」が28.4%で最も高く、「来年（2026年）」23.1%、「年内（2025年）」16.8%が続いた。「何とも言えない・わからない」は27.6%だった。



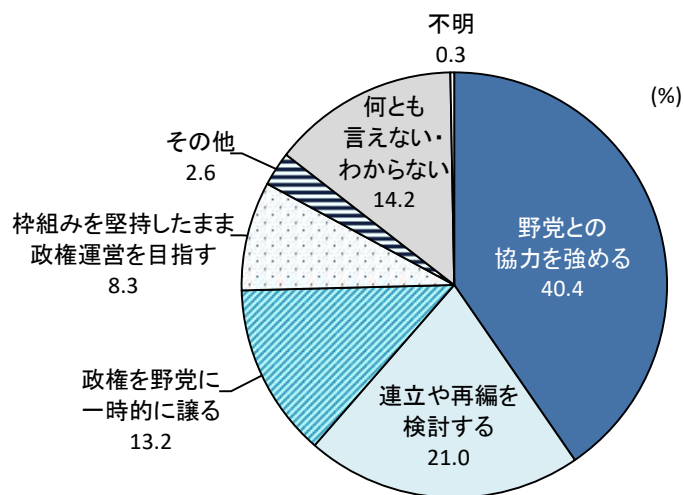
与党が目指すべき方向は

問 16 あなたは、与党が今後どのような方向を目指すのが望ましいと考えますか。

集計表35ページ

◆「野党との協力強化」4割

今回の参院選で与党が過半数割れとなり、衆議院とともに少数与党の状況となった。与党が目指すべき方向を聞いたところ、「野党との協力を強める」が40.4%と4割を占めた。次いで「連立や再編を検討する」が21.0%。「政権を野党に一時的に譲る」は13.2%だった。



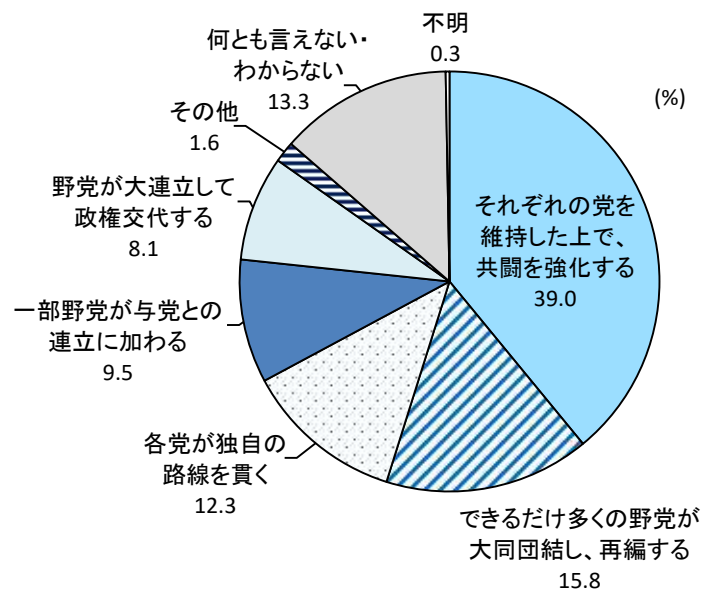
野党が目指すべき方向は

問17 あなたは、野党が今後どのような方向を目指すのが望ましいと考えますか。

◆「共闘」39%、「再編」16%

集計表36ページ

「それぞれの党を維持した上で、共闘を強化する」が最も高く 39.0%を占めた。次いで「できるだけ多くの野党が大団結し、再編する」15.8%。「各党が独自の路線を貫く」12.3%が続いた。「一部野党が与党との連立に加わる」9.5%、「野党が大連立して政権交代する」8.1%は1割に満たなかった。



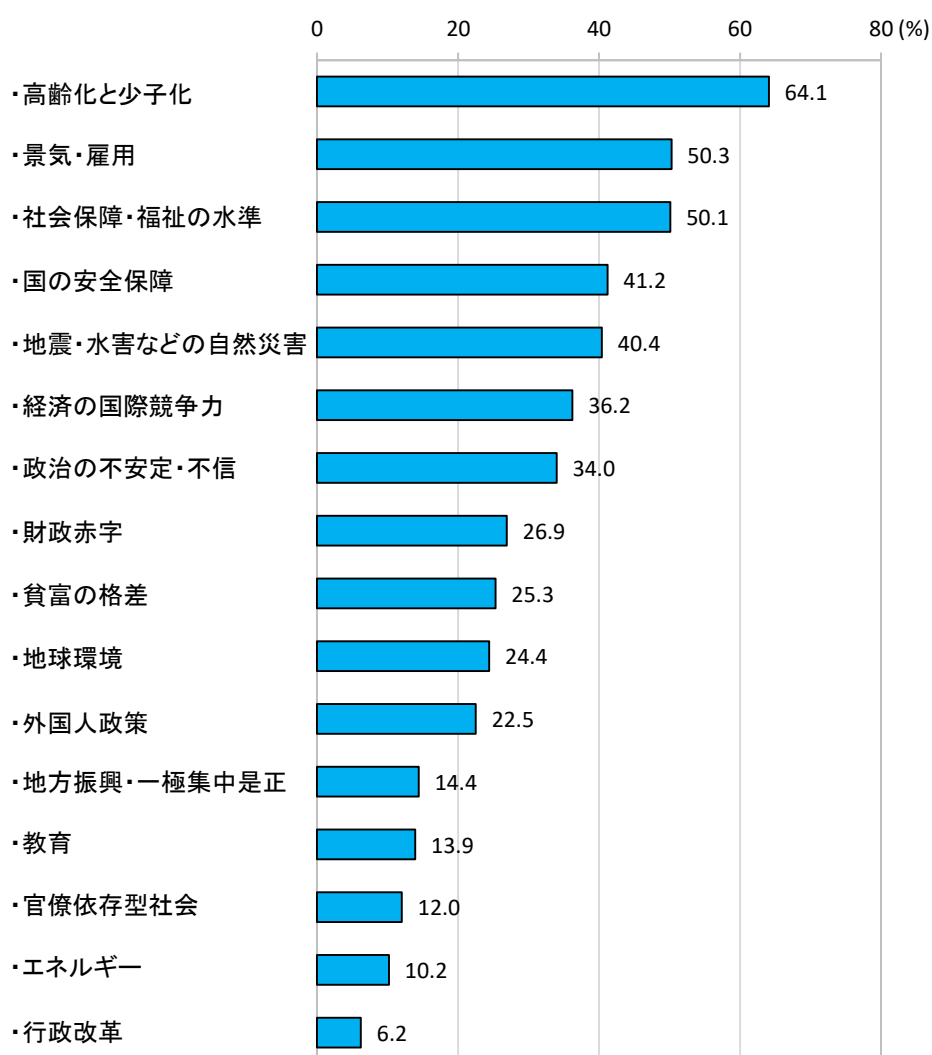
日本の将来で心配不安に思うことは

問 18 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配や不安に思うことがありますか。
次の中から、5つ以内に絞って教えてください。

◆「高齢化と少子化」トップ 64%、「景気・雇用」50%

集計表37ページ

「高齢化と少子化」が 64.1% で最多。次いで「景気・雇用」(50.3%)、「社会保障・福祉の水準」(50.1%) が続き、この 3 項目を挙げた人が半数を超えた。以下は「国の安全保障」(41.2%)、「地震・水害などの自然災害」(40.4%)、「経済の国際競争力」(36.2%)、「政治の不安定・不信」(34.0%) が続いた。今回調査で選択肢に加えた「外国人政策」は 22.5% だった。



Ⅲ 調査票

「2025参院選 連続調査 選挙後 モニター調査」調査票

問1 今回の参院選では、長野県区で立憲民主党の羽田次郎氏が当選し、自民が補選を含め5連敗となりました。全国では自民・公明の与党が参議院の過半数を割り込みました。この結果をどう受け止めますか。

- ① たいへん良かった
- ② ある程度良かった
- ③ あまり良くなかった
- ④ 全く良くなかった
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

問2 今回の参院選の結果により、衆参両院とも議席が過半数を割る少数与党の政権となったことについて、あなたの受け止めに近いものを選んでください。

- ① 政局が安定せず、混乱しやすくなることが心配だ
- ② 予算や法案が成立せず、政策が進まないことが心配だ
- ③ 与野党の緊張感が高まり、議論が深まって良い
- ④ 従来よりも、野党の少数意見も尊重されるので良い
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

問3 あなたは、石破内閣を支持しますか。

- ① 支持する
 - ② 支持しない
 - ③ 何とも言えない・わからない
- 問4、問6へ
→ 問5、問6へ
→ 問6へ

☐

問4 (問3で「① 支持する」とお答えの方にお尋ねします)

支持する理由は何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 自民党中心の内閣だから
- ② 公明党との連立内閣だから
- ③ 石破茂氏が首相だから
- ④ 首相の政治姿勢・手法が好ましいから
- ⑤ 政策に期待できるから
- ⑥ ほかに適当な人がいないから
- ⑦ その他 ()

☐
☐

問 5 (問 3 で「② 支持しない」とお答えの方にお尋ねします)

支持しない理由は何ですか。次の中から 2 つ以内に絞ってお答えください。

- ① 自民党中心の内閣だから
- ② 公明党との連立内閣だから
- ③ 石破茂氏が首相だから
- ④ 首相の政治姿勢・手法が好ましくないから
- ⑤ 政策に期待できないから
- ⑥ ほかに適当な人がいるから
- ⑦ その他 ()

(全員の方にお尋ねします)

問 6 あなたは、どの政党を支持していますか。

- | | |
|----------|---------------|
| ① 自民党 | ⑧ 参政党 |
| ② 立憲民主党 | ⑨ 日本保守党 |
| ③ 日本維新の会 | ⑩ 社民党 |
| ④ 国民民主党 | ⑪ チームみらい |
| ⑤ 公明党 | ⑫ その他の政党・政治団体 |
| ⑥ れいわ新選組 | ⑬ 支持する政党はない |
| ⑦ 共産党 | |

問 7 物価高対策は今回の参院選で大きな争点になりました。現金給付や消費税減税・廃止などを公約に掲げ、各党の論戦が展開されました。あなたは物価高対策としてどの政策がふさわしいと思いますか。

- ① 現金給付がふさわしい
- ② 消費税減税がふさわしい
- ③ 消費税廃止がふさわしい
- ④ その他 ()
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問 8 年金や老後資金の不安について今後、解消される方向へ進むと思いますか。

- ① 大いに進む
- ② ある程度進む
- ③ あまり進まない
- ④ 全く進まない
- ⑤ 不安はない
- ⑥ 何とも言えない・わからない

問13（問10で「① 投票した」とお答えの方にお尋ねします）

あなたは、今回の参院選で投票先を決める際、自民党派閥の政治資金パーティー裏金問題を考慮しましたか、考慮しませんでしたか。

- ① 大いに考慮した
- ② ある程度考慮した
- ③ あまり考慮しなかった
- ④ 全く考慮しなかった
- ⑤ 何とも言えない・わからない

10

問14（問10で「① 投票した」とお答えの方にお尋ねします）

あなたは今回の参院選の投票先を決める上で、インターネットの交流サイト（SNS）や動画サイトの情報を参考にしましたか。

- ① 大いに参考にした
- ② ある程度参考にした
- ③ あまり参考にしなかった
- ④ 全く参考にしなかった
- ⑤ そもそも見ない・使わない

11

(全員の方にお尋ねします)

問15 あなたは、次の衆院選は、いつごろ行うべきだと思いますか。

- ① 年内（2025 年）
- ② 来年（2026 年）
- ③ 再来年（2027 年）
- ④ 衆議院の任期満了（2028 年 10 月）に合わせて
- ⑤ 何とも言えない・わからない

1

問16 あなたは、与党が今後どのような方向を目指すのが望ましいと考えますか。

- ① 野党との協力を強める
- ② 連立や再編を検討する
- ③ 枠組みを堅持したまま政権運営を目指す
- ④ 政権を野党に一時的に譲る
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 何とも言えない・わからない

11

問17 あなたは、野党が今後どのような方向を目指すのが望ましいと考えますか。

- ① できるだけ多くの野党が大同団結し、再編する
- ② それぞれの党を維持した上で、共闘を強化する
- ③ 各党が独自の路線を貫く
- ④ 野党が大連立して政権交代する
- ⑤ 一部野党が与党との連立に加わる
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ 何とも言えない・わからない

7

問18 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配や不安に思うことがありますか。
次の中から、5つ以内に絞ってお答えください。

- | |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

誠にお手数ですが、以下4項目のご記入も、よろしくお願いいたします

10

10

7

10

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ